

手強い値切り魔もランジェリーでイチコロ

Lingerie makes hagglers happy-go-lucky

セクシーな写真やレースの下着を見ると、男は利益に執着しなくなる。

doi:10.1038/news060417-1/19 April 2006

Michael Hopkin

男はマッチョであればあるほど一少なくともホルモンからすれば、だが一魅力的な女性を見たときに判断力が鈍るようだ。

ルーヴァン大学（ベルギー）の研究者の依頼で、男性たちが最後通牒ゲームをした。これは、一定の金額を参加者どうしで分け合うゲームだ。最も要求の厳しい交渉をしたのは高テストステロンの男性だったが、ゲーム前にビキニモデルの写真を見せると事態は一変し、こうした男性は不利な取引を受け入れるようになりやすかった。一方、低テストステロンの男性は女性の姿を見ても、交渉戦術にそれほどの変化はみられなかった。

この研究で研究者が目にしたのは、参加者が出生前に胎内で接した男性ホルモン、テストステロンの量だ。これは人差し指と薬指の長さを比較することで測定できる。薬指が比較的長いのが高テストステロンのしるしだ。

こうした高テストステロンの男性はブラジャーを手にしただけで軟化する、という論文を、経済学者の Bram Van den Bergh と Siegfried Dewitte が *Proceedings of the Royal Society B* 誌に発表した¹。風景や年配女性の写真を見せたり T シャツを触らせたりしても、高テストステロン男性のタフな交渉に変化はなかった。

魅惑的な広告

この発見によって、なぜ広告主はセクシーな女性に商品の宣伝販売を頼るのか、説明できるかもしれない、と研究者たちは考えている。「宣伝や広告はセクシーな女性でいっぱいだが、男性の認知プロセスとの因果関係はあまり研究されていない」と Van den Bergh は話す。

美女が男性の行動に与える影響についての研究は、これが初めてではない。たとえば、美しい女性を目にした男性は、



高テストステロンの男性は、セクシーな写真を見ると利益追求の意欲を失うことが多い。

多額の現金を後でもらうより少額でもその場で受け取るほうを選ぶ傾向にあるが、これは経済力をすぐに見せたいがためとされている。

しかし、コンピューターからカービンナイフまで、官能的な美女によって何でも売れるのはなぜか、これでは説明できない。魅力的な女性を前にすると男性はあまり利益にこだわらなくなるというだけのことなのだろう、と Van den Bergh は考えている。

公平性への戦い

ゲームの中で、一方の参加者（提案者）は 10 ユーロを与えられ、もう一方の参加者（回答者）に分け前をオファーする。回答者は前もってひそかに最少希望額を第 3 者に申告しておく。オファーがその希望額に満たなければ、2 人とも 1 ユーロたりとももらうことができない。

少しでも分け前があるに越したことはないため、回答者は目標を低くし、提案者がけちなオファーをしても、分け前をもらいはぐれないようにするの

が普通だろう。しかし、回答者のプライドと公平性への強い意識のため、両者とも取り分のない例が続出した。

実験の結果、最も大きな分け前をねらったのは高テストステロンの男性だった。しかし同時に、テストステロンに強く支配された男性は、セクシーな女性を見た後に金銭的要求を最もゆるめやすかった。おそらく、気がゆるみ、金銭にあまりこだわらなくなったのだろう。あるいは、この研究者が示唆するように、気を引く相手ができただけで、たとえわずかでも何らかの富を得ようとしたのかもしれない。

獲得すべき女性の姿を目にすることで、男性はこのように実際に分別が増すのではないかと Van den Bergh は語る。「少しでも金銭はあったほうがいいので、セクシーな女性やランジェリーを見ると、男性は経済的により合理的になるといえる」。

1. Van den Bergh B. & Dewitte S. *Proc. R. Soc. Lond. B*, doi:10.1098/rspb.2006.3550 (2006).